

パーソナルファイナンス学会
2018 年度会員総会 議事録

日時：2018 年 12 月 1 日（土）17：00～17：20

会場：千葉商科大学

出席者数：出席 46 名 + 委任状 16 名 = 62 名

定足数(会員数の 1/10)：16 名

議長・坂野会長による開催に先立ち、大東和副会長より出席者数の確認と定足数の確認が行われ、会員総会が成立することが述べられた。効率的に進行するため、一部は坂野会長から審議もしくは報告がなされるが、報告事項のみの場合には資料を参照されたいと述べられた。

報告事項

1. 各委員会活動報告

1) 編集委員会

大東和副会長より資料に基づき、3 編の投稿と 1 編の招聘論文の 4 編で WEB ジャーナル『パーソナルファイナンス研究』No. 5 が 1 月中に公開予定との報告がなされた。

2) 国際交流・広報委員会

山本理事より資料に基づき、「パーソナルファイナンスレポート」No.4 の年度内発行とメール版ニュースレターの配信状況について報告がなされた。

3) 総務・財務委員会

岸本理事より、今年度中間決算報告について一年度の期間（4/1～3/31）の説明がなされたあと、会費納入の内訳の報告がなされた。予算に対する納入率、事業支出の内容が報告された。なお、2018 年度決算については、すでに監査を終了し適正に処理され、理事会で承認されていることが報告された。

4) 研究・出版助成委員会

大東和副会長より今年度は 2 件の申請（①研究代表者：田中幸弘、②研究代表者：堂下浩）があり、いずれも交付することとなったとの報告がなされた。

5) 学会賞委員会

桑名理事より学会賞の対象作はなかったことと研究奨励賞は 3 編の候補作があったが、今年度は該当作なしとなったことが報告された。

- 6) 大会委員会
岸本理事より第 19 回全国大会の開催に際し、開催校である千葉商科大学と藤原七重実行委員長へお礼が述べられた。本日は 50 名の参加と明日の事前申込数は 37 名であることが報告された。
- 7) 部会報告
大東和副会長より、東部部会を年度内に開催予定であることと、資料に基づき、西部部会の開催内容について報告がなされた。
- 8) 金融教育部会
春井理事より、講師の時間的都合から今年度内の開催は見送り、来年度開催予定であることが報告された。
- 9) 消費者金融部会
坂野会長から資料に基づき、早稲田大学クレジットビジネス研究所との共催で開催したことと今大会でもプログラムがあることが報告された。
- 10) イノベーション部会
藤原理事よりクレジットマネジメント研究会との共催で「デジタル通貨の有価証券的法的性格と金融通貨制度及び銀行システムにおける為替・決済システムとの関係」(田中幸弘氏、田中秀一郎氏)の講演がなされたことが報告された。

審議事項

1. 2019 年度第 20 回全国大会について
岸本理事より、来年度の開催校として神奈川大学(山本崇雄実行委員長)が提案され、承認された。
2. 入退会について
岸本理事より、資料に基づき 2 名の入会と 5 名の退会について説明がなされ、承認された。
3. 名誉会員について
坂野会長より、晝間文彦氏(早稲田大学)と藤江俊彦氏(千葉商科大学名誉教授)が理事会にて名誉会員に推挙され承認されたことが報告され、晝間氏より挨拶がなされた。

以上
(文責リエゾンオフィス)